

世界水準の旅行サービスの実現 ～レンタカーに関する取組について～

平成30年2月20日

国土交通省 道路局

訪日外国人旅行者向け高速道路の周遊定額パス

施策内容

○レンタカーを利用する訪日外国人旅行者向けに、高速道路会社が高速道路の周遊定額パスを販売。高速道路網を通じて地方部への誘客等につなげる。

進捗状況

高速道路3会社の高速道路等の周遊が可能な「Japan Expressway Pass」を平成29年10月から販売

○利用日数及び定額料金

7日間 : 20,000円
14日間 : 34,000円

○取扱レンタカー店舗

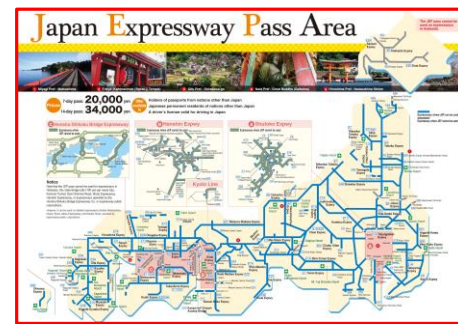
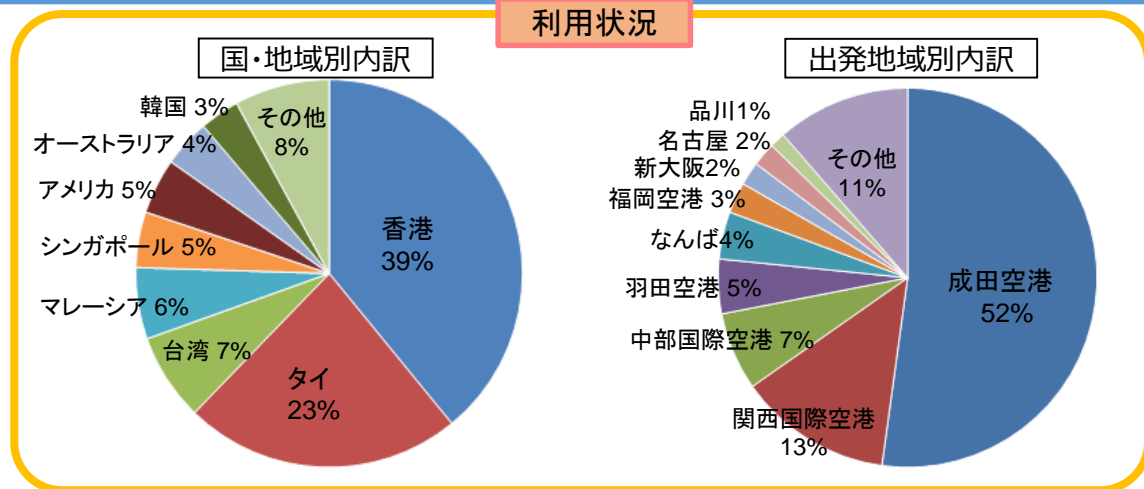
- ・国際空港近郊の店舗を中心に計275店舗

○海外への情報発信

- ・高速道路会社(海外版)やJNTOのウェブサイト、SNSによる情報発信
- ・旅行博等への多言語パンフレットの設置

※ 各地域内での周遊定額パスについても、別途販売

利用状況



(多言語版パンフレット)

今後の取り組み予定

○効果的なPR手法の検討等に向け、利用動向の分析を進める。

わかりやすい道案内の推進

施策内容

○訪日外国人をはじめ、すべての旅行者にわかりやすい道案内を実現するため、高速道路ナンバリングや道路案内標識の改善を推進。

進捗状況(平成29年12月時点)

○我が国の高速道路ネットワークにおいて、路線名にあわせ、「ナンバリング」を導入

⇒ 34都道府県で対応標識の整備に着手



<対応標識>

(高速道路本線)

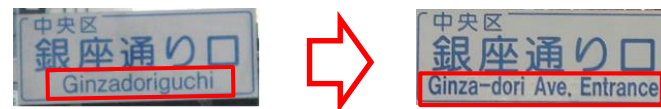


(一般道)



○道路案内標識の英語表記の改善

⇒ 多くの訪日外国人旅行者が訪れている49地域等で実施



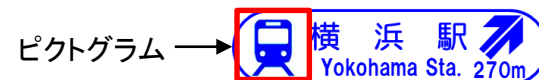
○交差点名標識への観光地名の活用

⇒ 著名な観光地、名所等116箇所を実施



○ピクトグラムの活用

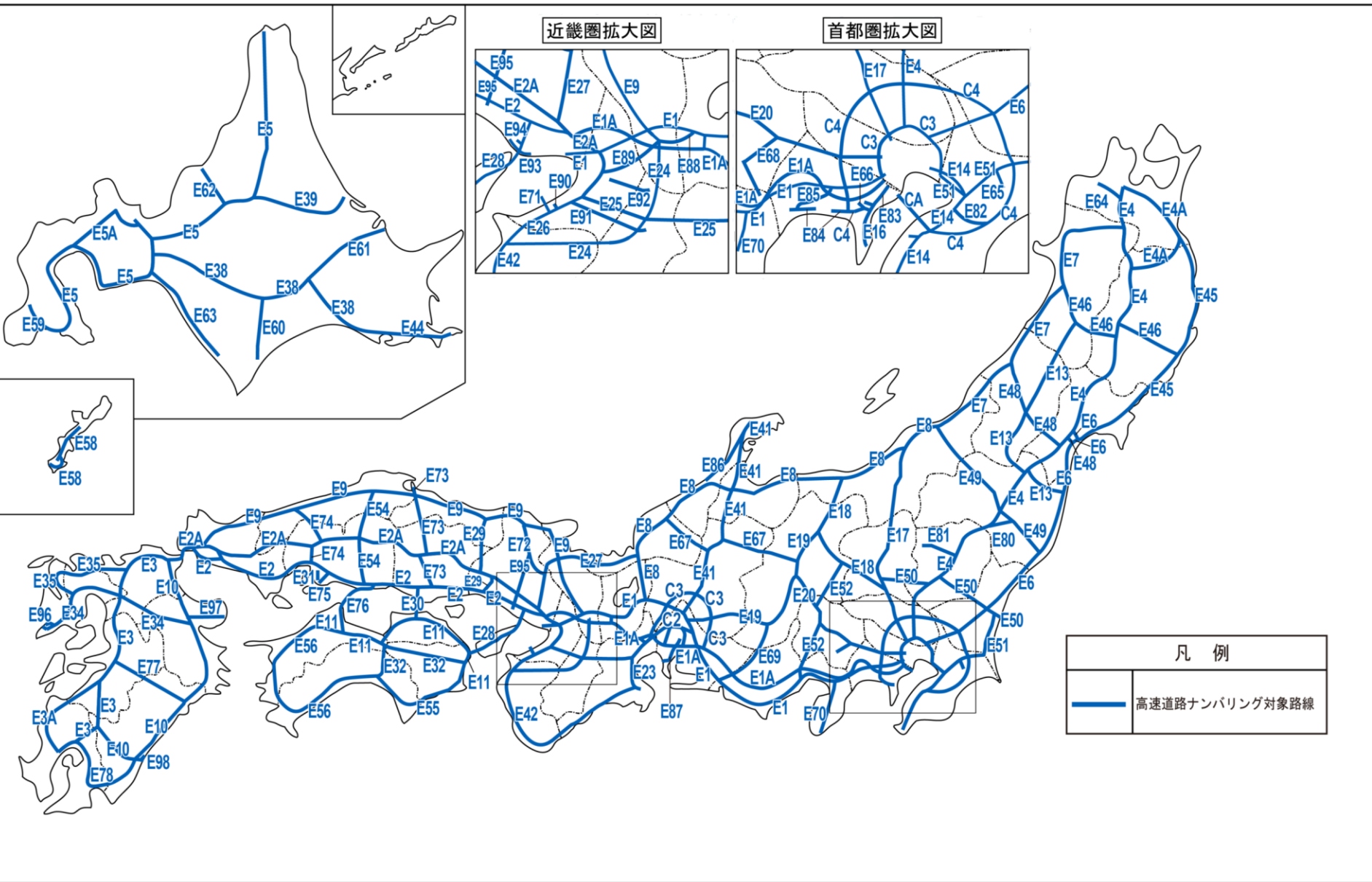
⇒ オリンピック・パラリンピック競技会場周辺等で積極的に活用



今後の取り組み予定

○高速道路ナンバリングの、2020年までの概成を図る。あわせて道路案内標識の改善も推進する。

高速道路ナンバリング対象路線図



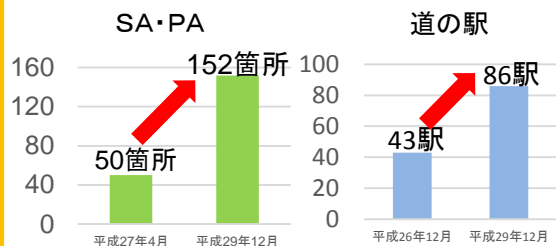
休憩施設における受け入れ環境整備

施策内容

○SA・PAや道の駅における訪日外国人への対応を進めるため、JNTO認定観光案内所やFree Wi-Fiの導入、トイレの洋式化、免税店の設置等を推進。

進捗状況

○JNTO認定観光案内所の導入



道の駅 湯西川(栃木県)

○トイレの洋式化

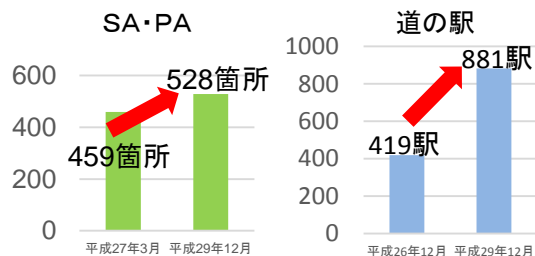
SA・PA
和式のみの箇所はない

道の駅
和式のみの駅は
1134駅中54駅まで削減
(平成29年12月現在)



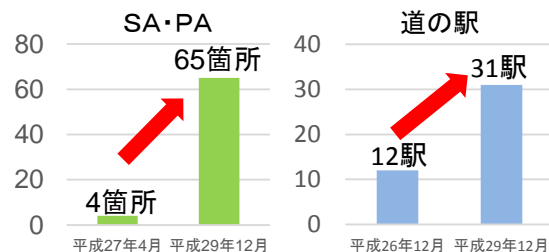
道の駅
大杉(高知県)

○Free Wi-Fiの導入



亀山PA 店舗ドア

○免税店の設置



海老名SA

※ SA・PA(全国) 869箇所、道の駅(全国) 1134駅(うち1114駅開業済)

今後の取り組み予定

○訪日外国人の更なる利便性向上に向け引き続き、道の駅への支援を進める。

訪日外国人観光客レンタカー事故ピンポイント対策

施策内容

○急増する訪日外国人観光客のレンタカー利用による事故を防止するため、ETC2.0の急ブレーキデータ等を活用して、外国人特有の事故危険箇所を特定し、ピンポイント事故対策を講じる。

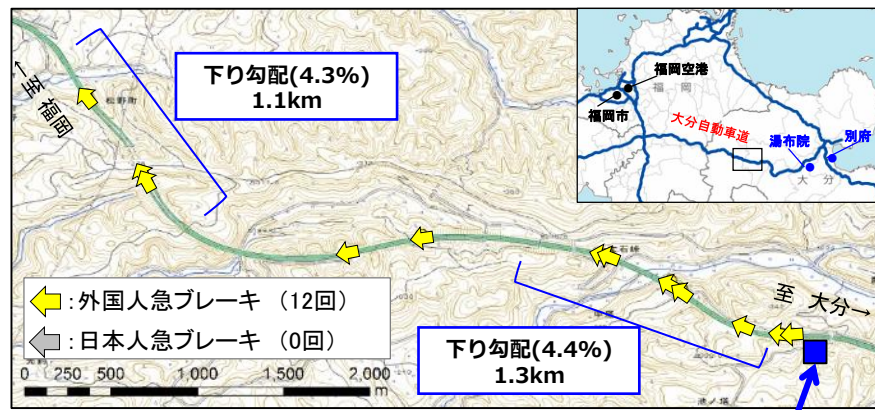
進捗状況

○訪日外国人のレンタカー利用の多い空港として、平成29年9月に、新千歳空港、中部国際空港、関西国際空港、福岡空港、那覇空港を選定

○福岡空港については、空港周辺から出発する外国人観光客レンタカーの急ブレーキデータ等を取得・分析し、事故危険箇所として大分自動車道の日田～天瀬高塚間(福岡方面)などを特定

平成29年12月から多言語*簡易情報板の設置等による注意喚起などを実施

※韓国語及び中国語



<大分自動車道における対策事例>

今後の取り組み予定

○将来的な横展開に向け、選定地域におけるデータ取得・分析や対策・効果検証等を進める。